

楽友会に入りたい、でも資格の勉強も両立したい……。

—そんな不安に答えます—

GAKUYU
Voice
団員の声届けます。



司法試験予備試験 短答式試験合格者

法学部法律学科 4年

A

1

松葉「これからインタビューを始めたいと思います。まず初めに自己紹介をお願いします。」

A「楽友会では66期、法学部法律学科の4年生です。大学から合唱を始めて、中高時代は全然別のことをしていました。」

松葉「ありがとうございます。インタビューアーは松葉です。早速ですが今どんな試験の勉強をされてるんですか？」

A「私は司法試験を目指していて、その受験資格を得るための予備試験に向けて勉強しています。今年四年生なので、ロースクールの入試の勉強もしています。」

松葉「すごいですね！」

A「でもやること一緒だから（笑）。」

松葉「ああー内容としてはってことですね。」

A「院試だけちょっと大学院の個性が出るけどってぐらい。」

松葉「入団するときから、その試験を受けることは決めていたんですか？」

A「決めてました。ちょっとはどうしようかなっていう迷いもあったんだけど、十中八九受けるかな、ぐらいの感じで。ただ、勉強を本格的に始めたのは1年生の4月とかではなくて、1年生の年明けの2月ぐらいからでした。」

松葉「それまでは、普通に楽友で活動って感じでしょうか。」

A「そうですね、確かに学校の勉強は真面目にしてるけど塾に通ったりし出したのは2月ぐらいからだったかな。」

松葉「なるほど。」

サークルと両立できてる人の方が最終的に勉強ばっかりしてる人よりも受かってるかなっ

てなって

松葉「ちょっと被るんですが逆に資格取得によって楽友に入るかを迷ったりはしましたか？」

A「それはなかったかな。迷うとしたらそもそもサークルに入るかどうかだったから楽友にするかっていうのでは迷わなかった。」

松葉「じゃあ入るとしたら楽友だった感じですかね。」

A「そうね、私はあと他に法律系のサークルに入っていて、まあそこは入っていても司法試験には影響ないから、他に入るかどうかで感じて、それが楽友会だった。ただ、いろんな人の話を聞いて、サークルと両立できてる人の方が最終的に勉強ばかりしてる人よりも受かってるかなってなって。社会経験にもなるし、そういう点を踏まえて入ることにしましたね。」

松葉「数あるサークルの中で忙しくても楽友会に入ろうと思った決め手は何だったんでしょうか？」

A「それはやっぱり、まず歌がやりたかったっていうのがあった。後は安心材料として別の資格試験や、研究室、リコタイ（理工学部体育會）とかで忙しくしてる人が楽友会にはたくさんいて、そういう人を見ててきっと両立できるんだろうなって印象を持てたこともあるかな。」

松葉「そうですね、結構いろんなことをしてる人がいますよね。」

A「うん、私が入ったときはたまたま司法試験の人はいなかったけど、公務員試験とかを目指してる人はいたから。」

やっぱりメリハリをつけることは大切な。

松葉「Aさんは楽友会に入って今年で4年目になりますが、楽友会との両立が難しかったり勉強に支障が出たことはありましたか？」

A「まあ、両立は楽ではないです。そもそも試験自体が簡単なものではないので、そういう意味では両立が大変っていうかそもそも大変（笑）。」

松葉「そうですね、司法試験ですもんね。」

A「そう考えると、両立が大変っていうのはあんまり感じたことないです。っていうのは楽友会は結構活動量を調整しやすい。合唱っていうのはみんなで作るものだけど、そもそも楽友



会では演奏会に乗るか乗らないか、乗るとしたらどのステージに乗るのかとか幅広い選択ができるから、自分がどの時期にどのくらい楽友会に時間を割けるのかを考えればやっていけると思う。ちょっと忙しくて演奏会にはのれないかなってときでも、練習に行けば先輩とか同期とかと話せるし、歌ったりすることでリフレッシュできる。むしろそういう場所があるっていうことがプラスになって、確かに忙しいけど楽友に入ったことが障害になることはそんなになかったかな。」

松葉「確かに楽友会の活動は選択の余地が比較的ありますよね。」

A「うん、個人的にはとりあえず歌いたい、とか歌うことが楽しい！っていう思いがあればいいんじゃないかと思う。」

松葉「なるほど、では具体的にはどうやって両立されてますか？」

A「そうだね、私はだいたい時期で区切ってるって感じですね。年3回ある演奏会を目安に時期を区切って、自分の試験がどの時期にあるのかっていうのを考えています。試験の直前期はやっぱり勉強に集中したいからなるべく演奏会はいれずに楽友の活動をセーブして平日中心に多くて週1回。でも、楽友の演奏会が近いときとか、勉強にちょっと余裕があるときは平日中心に週1、2回って感じかな。」

松葉「そういえば活動が平日と休日（土曜）のどちらにもあるのも特徴の1つですね。」

A「そうね、曜日の幅が広いからそこがメリットになる人は多いかもしれない。学年が上がるゼミとかもあるしね。」

松葉「Aさんはゼミにも入ってらっしゃるんですか？」

A「うん。法学部法律学科の人はほとんど入ってると思うよ。」

松葉「ほんとに忙しいですね……。」

松葉「楽友会に所属しながら資格の取得を目指すのは可能だと思いますか？」

A「できると思うよ、多分。不可能だったらやめてるだろうから（笑）。」

松葉「（笑）。確かにそうですね。」

A「私も要領がいい方じゃないんだけど、やっぱりメリハリをつけることは大切かな。でも要領がよい人しか両立できないとかそんなことは決してないと思う。」

松葉「確かに資格を取ろうとしてる人は少なくないですし、みんなの応援もありますからね。」

松葉「では最後に資格取得と両立したい新生生に一言お願いします。」

A「何事もやりたいことはとりあえずやってみるといいんじゃないかと思います。意外とやってみたらいけたりするので。まあ、言ってしまうとやめる方が簡単だしね（笑）。でもせっかくこれを読んでくれるほど楽友会に興味を持ってくれたなら一緒に歌えたらうれしいなと思います。」

松葉「本当にその通りですね。挑戦する心を大切にしたいです。本日はお忙しい中ありがとうございました。」

